



研究所便り

しまんと

発行：四万十町教育研究所

第111号（通し番号）

令和7年5月20日 発行

さわやかな季節となりました。皆様におかれましては、新しい環境にも慣れ、職務にお励みのことと存じます。教育研究所・教育支援センターでは、少しメンバーの変動がありましたが、様々な相談をいつでもどこでも受けられるよう、準備が整いました。

そして、発達教育支援員の言語訓練への希望届けの提出をいただき、時間調整も終わり、昨年のような訓練ができるようになりました。昨年の訓練から「読みがスムーズになることによって、授業に向かう姿勢や定期テストでの点数上昇を目指す姿勢が出現した」また「構音不明瞭な小学生の構音が明瞭となった。」などの成果が表れています。しかし、課題もあり、その課題解決のために、本年度は更に児童生徒の状況を学校と共有することや、学習障害の児童生徒への早期対応に努めていきたいと考えています。訓練の際にはできるだけ、担任や担当の方がついていただきますよう、お願いします。児童生徒の状況がわかるという利点もありますし、状況を共有しやすいと考えます。

本年度も教育研究所は学校が相談しやすい、最も近い存在であるよう、補導センター職員とともに努めてまいりますので、よろしくお願いします。

<チーム研究所で頑張ります!研究所のメンバーを紹介します。>

所長	野村 泰子	教育支援センター指導員	榊山 雅子
研究員	西澤 尚輝	教育支援センター指導員	中平 均
SSW	齋藤 マサ	教育支援センター指導員	国広 由香
SSW	北村 仁実	教育支援センター指導員	藤原 克彦
発達教育支援員 (言語聴覚士)	西田 香利	事務職員	長山 智花

※研究所の事務所内には少年補導センターもあり、所内での会など、毎月合同で行っています。補導案件等がありましたら、ご連絡ください。

教育研究所 ☎ 22-3287

補導センター ☎ 22-1197

教育研究所は教育相談・発達
相談・校内研修を支援します。

R7 教育研究所の事業計画

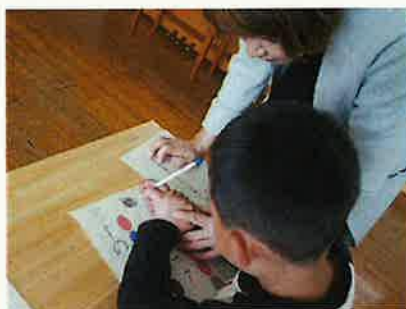
1. 教育研究活動 デジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～
2. 学校研究支援 QUの実施、いのちの学習支援、校内研修支援
3. 教育支援センターの運営（不登校児童生徒の支援）
4. 教育相談活動
5. 研究協力校（仁井田小・窪川小）の取り組み支援
6. 副読本の改訂
7. 四万十教科書センターの運営（閲覧・貸出・教科書の展示会など）
8. 特別支援教育の研究（就学前健診プロジェクトへの協力）など



もんちゃんえんぴつ教室

本年度も、田邊建設さん、四万十うなぎ株式会社さん、宗崎幸子さんより「筆育もんちゃんえんぴつ」を1、2年生に寄贈していただきました。その鉛筆を使って、絵本の店コッコさんによる「えんぴつの持ち方教室」を開催しました。（東又小は本日20日、十和小は22日に開催予定）

子どもたちは、『もんぱぱ（親指）もんま（人差し指）もんにいさん（中指）は力持ち』という魔法の呪文を唱えながら、鉛筆と指を合わせていき、正しい鉛筆の持ち方を学んでいました。1年担任の先生方には、教室開催に協力していただきありがとうございました。寄贈していただいた企業と宗崎さんにお礼の手紙を届けたいと思いますので、可能な範囲で子どもたちに書いてもらうようよろしくお願いします。



研究員の研究について協力をお願い

本年度も研究テーマを「デジタル学習基盤を活用した『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～」とし、クラウド等を活用した授業改善や授業と授業外学習のシームレスな学びについて研究していきます。各学校でICTに係る研修を行う際には、一緒に参加し学ばせていただきたいです。授業の様子を「研究所便り」でも紹介していきたいと思いますので、公開授業、研究授業等のご連絡をいただくと嬉しいです。また、「こんなことをやってみたいけど、どうしたらいいだろう？」ということがありましたら、学校教育課のICT担当やICT支援員と一緒にできるだけ対応させていただきたいと思いますので、研究所までご相談ください。よろしくお願いします。

教科書展示会のお知らせ



6月10日（火）～24日（火）の午前9時から午後5時まで、農村環境改善センター第1会議室にて、教科書展示会を開催いたします。小学校、中学校、高校の教科書が展示されておりますので、ぜひ足をお運びください。

展示会以外は、教科書センターにて常時閲覧・貸し出しができますので、こちらの方もご利用ください。（展示会中は閲覧のみです。）